2023年度看護学科

一般選抜

受験番号						氏名	

国　　語

（100点　50分）

注　意　事　項

1. 試験開始の合図があるまで，この問題冊子を開いてはいけない。
2. この問題冊子は17頁ある。試験開始後，頁の落丁・乱丁及び印刷不鮮明，また解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，手を挙げて監督者に知らせること。
3. **監督者の指示にしたがって，解答用紙の該当欄に以下の項目をそれぞれ正しく記入し，マークせよ。**

⑴　**受験番号欄**

受験番号を5ケタで記入し，さらにその下の**マーク欄**に該当する**5ケタをマークせよ。**　（例）受験番号20025番→ | 2 | 0 | 0 | 2 | 5 | と記入。

⑵　**氏名欄**

氏名・フリガナを記入せよ。

4. マークシートについて

⑴　受験番号が**正しくマークされていない場合は，採点できないことがある。**

⑵　解答は，解答用紙の注意事項をよく読み**解答欄**に**ＨＢ鉛筆**で正確に**マーク**せよ。例えば | 20 | と表示された問題の正答として④を選んだ場合は，次の(例)のように**解答番号20の解答欄**の④を**濃く完全にマーク**せよ。**薄いもの，あるいは不完全なものは解答したことにはならない。**

（例）

解答番号	解　　答　　欄
20	①　②　③　●　⑤

⑶　解答を**修正**する場合は必ず「消しゴム」で**あとが残らないように**完全に消すこと。鉛筆の色や消しくずが残ったり， のような消し方などをした場合は，**修正**したことにならない。

5. 試験終了後，**問題冊子**および**解答用紙を机上**に置き，試験監督者の指示に従い退場しなさい。

第1問 次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。（配点50）

文章は著作権の関係により、掲載できません。
掲載可能となり次第、掲載します。

文章は著作権の関係により、掲載できません。
掲載可能となり次第、掲載します。

文章は著作権の関係により、掲載できません。
掲載可能となり次第、掲載します。

文章は著作権の関係により、掲載できません。
掲載可能となり次第、掲載します。

文章は著作権の関係により、掲載できません。
掲載可能となり次第、掲載します。

問1　傍線部(ア)～(オ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 1 ～ 5 。

(ア) タイナイ 1

① カンコツダッタイ
② タイガンの火事
③ タイヘイラクを並べる
④ 新しい学説のタイケイを樹立する
⑤ 秘書をタイドウして出張する

(イ) カレイ 2

① レイケンあらたか
② バレイを重ねる
③ 早起きをレイコウする
④ ヒレイを重ねる
⑤ コウゲンレイショク鮮(すくな)し仁

(ウ) イゼン 3

① イフの念を抱く
② イシンデンシン
③ シイを巡らせる
④ 親にイゾンする
⑤ イロウなくやり遂げる

(エ) ヨギ 4

① ジギを得た発言
② 雪道を行くのにナンギする
③ 被災地にギエンキンを送る
④ 彼はまったくのギゼンシャだ
⑤ その証言にはギギがある

(オ) キハン 5

① 銀座にキカン店を出す
② 海外進出をキトする
③ 今週のシンキ感染者はゼロだ
④ 社会のフウキを乱す
⑤ 白をキチョウとした明るい部屋

問2　傍線部A「慢性痛はなぜ生じるのだろうか」とあるが、筆者の考えとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 6 。

① 慢性痛は、脊髄損傷の可能性によるものと考えている。
② 慢性痛は、運動能力の後退によるものと考えている。
③ 慢性痛は、幻肢によるものと考えている。
④ 慢性痛は、身体図式の機能不全によるものと考えている。
⑤ 慢性痛は、全体的なシステムとしての身体が世界とのインタラクションに執着することによるものと考えている。

問3　空欄 **a** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 7 。

① 身体の感覚と運動をシステマティックに連動させることができず
② 自分の運動を制御することができない場合に
③ 自分の願望を無意識の中に押さえ続けることにより
④ 以前の身体図式が更新されない場合に
⑤ 対象へと向かう身体的な志向性を失い

問4　空欄 **b** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。ただし、空欄 **b** は二箇所ある。解答番号は 8 。

① 抑圧　② 信頼　③ 報復　④ 誤知覚　⑤ 破壊衝動

問5　空欄 **c** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 9 。

① ボブの結婚生活に問題があった
② かつての肉体と運動力を奪われた
③ 身体図式と世界とのインタラクションが澱むことにより、以前より障害が重篤になった
④ 自分をとりまく世界が自分にアフォードしてくれるものがなくなった
⑤ ボブが以前の男らしい自己像を捨てることができなかった

問6　本文の内容に合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 10 。

① メルロ＝ポンティは、身体をもつとは、或る生物体にとって、一定環境に適合し、幾つかの企てと一体となり、そこに絶えず自己を参加させてゆくことだと定義づけているが、幻肢が身体図式の機能不全に起因するものであるとの考えと理論的に親近性がある。

② 熊谷晋一郎は、自身の経験から、脊髄損傷が慢性痛の原因であるのと同様に、脊髄損傷の可能性も慢性痛の原因になりうることを証明しているが、それは、後に、心理的問題が慢性痛の唯一の原因であると一般化されている。

③ 身体図式とは、さまざまな感覚と運動が全体として共同に働くダイナミックなスキーマのことであるが、それは、人間だけではなく、ロボットにも一般的に備わっている。

④ 慢性痛同様、幻肢は誤った痛みであり、生活を破壊するが、他人の力を借りずに、みずから世界との関わり方を変えない限りは、そこから脱することはできない。

⑤ 熊谷晋一郎が小児科医としての経験をもとに慢性痛を治癒していったのに対し、ボブは軍人にすぎず、医者としての経験がなかったことが災いして、慢性痛の治癒に苦労した。

第2問

次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。（配点50）

文章は著作権の関係により、掲載できません。
掲載可能となり次第、掲載します。

文章は著作権の関係により、掲載できません。
掲載可能となり次第、掲載します。

文章は著作権の関係により、掲載できません。
掲載可能となり次第、掲載します。

文章は著作権の関係により、掲載できません。
掲載可能となり次第、掲載します。

問1　傍線部(ア)～(オ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 11 ～ 15 。

(ア) ケツジョ 11

① ゆっくりとジョコウ運転する
② 事件のジョマク
③ 壮大なジョジシ
④ ジョサイない受け答え
⑤ 銅像のジョマク式

(イ) トクシュ 12

① シュショウな心がけ
② シュギョクの短編集
③ 地方行政をシュカンする
④ シュセンド
⑤ その説にはシュコウできない

(ウ) ハクガク 13

① ハクアの殿堂
② ボクシング界の名ハクラク
③ ハクライの珍しいおもちゃ
④ カジンハクメイ
⑤ ハクランキョウキ

(エ) ケントウ 14

① ケンガクに励み合格した
② 入国者のケンエキを行う
③ ケンニンフバツ
④ 大国にヒケンする経済力
⑤ ジャケンに扱う

(オ) イッタン 15

① タンセイな顔立ち
② 公平性をタンポする
③ キョシンタンカイに意見を聞く
④ タントウチョクニュウに質問する
⑤ 一年の計はガンタンにあり

問2　空欄 **a** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 16 。

① 例えば　② 確かに　③ あるいは　④ というのは　⑤ すべからく

問3　空欄 **b** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 17 。

① 倫理性　② 日常性　③ 絶対性　④ 身体性　⑤ 可能性

問4　傍線部A「バーチャルな世界とリアリティのある世界の境界線があいまいになってくる」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 18 。

① eラーニングが日常的なものとなることで、サイバースペースがリアルな世界にとってかわり、リアルな教育の場を駆逐していくということ。

② eラーニングが日常的なものとなることで、これまでのサイバースペースと異なるリアリティを持った「学びの場」ができるということ。

③ eラーニングが日常的なものとなることで、バーチャルな体験から得た知識と実際の体験から得た知識の差がほとんどなくなり、その差を問うことが意味をなさなくなるということ。

④ eラーニングが日常的なものとなることで、リアリティのないバーチャルな知とリアリティのあるバーチャルな知が混在するようになるということ。

⑤ eラーニングが日常的なものとなることで、サイバースペースがもうひとつのリアルな世界になり、リアルとバーチャルの意味が曖昧になるということ。

問5　空欄 c に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。ただし、空欄 c は三箇所ある。解答番号は 19 。

① 積極的　② 直線的　③ 系統的　④ 指数関数的　⑤ 幾何級数的

問6　本文の内容に合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 20 。

① 高度情報化社会においても、「世の中には必ず正しい知識や正解が存在する」と一般に考えられている。

② 二一世紀の子どもたちは、生まれたときから目の前にコンピュータが空気のように存在していたので、これまでとは異なる現実感を持っている可能性がある。

③ 二〇世紀の工業社会は、正しい知識や正解が存在することを前提とした教育を行ってきたが、その前提が崩れてしまったことが原因で、教育の欠陥が表面化し、「いじめ」や不登校の問題が出てきた。

④ 正しい知識や正解を積み重ねていけば立派な人間になれるという大原則は、eラーニングが日常的なものとなったとしても変わることはないと考えられている。

⑤ 常に情報の意味やその情報自身も変化する現代においては、柔軟性が何より重要であり、eラーニングが期待されているのも、その柔軟性ゆえである。